



# 重点プロジェクト

第1章 重点プロジェクト総論

第2章 重点プロジェクト各論

### 第1節 後期基本計画における重点プロジェクトとは

後期基本計画では基本構想に掲げた将来像である「ひと・みどり・産業が輝く 新たなふるさと – 市民・企業・行政が協働で創る自立都市を目指して –」を実現していく上で、後期基本計画の計画期間の中で、特に重点的に取り組むべき施策を重点プロジェクトと位置付け、推進していきます。

### 第2節 重点プロジェクトの基本的な考え方

序論（27ページ）にも記載しているとおり、重点プロジェクトについては、基本構想において、特に必要と優先度が高い施策を4つの重点プロジェクト（「活気にあふれる自立したまちづくりプロジェクト」「教育・福祉先進のまちづくりプロジェクト」「地域が支え合う協働のまちづくりプロジェクト」「行財政改革プロジェクト」）として設定し、前期において重点的に推進してきました。

後期基本計画では、この基本構想に掲げた重点プロジェクトの方向を基本としながら、各施策の達成状況、社会変化や市民ニーズなどを踏まえ、後期5年間においてその成果が強く望まれる重点的な施策を検討し、後期基本計画における重点プロジェクトとして再構築します。重点プロジェクトに掲げた各施策については、市民・企業・行政がともに連携し、積極的に事業を推進するとともに、それぞれの施策が連動し、目指す成果に対して相乗効果を最大限に高めるために工夫していきます。

### 第3節 重点プロジェクトの構築

前述した基本的な考え方を踏まえた上で、5つの重点プロジェクトを定めます。

#### 後期基本計画における重点プロジェクト

##### 重点プロジェクト1 定住促進プロジェクト

- 〔重点施策〕
- ▶ 良質な住宅団地の整備
  - ▶ 魅力ある定住施策の充実
  - ▶ 情報通信基盤整備の推進

##### 重点プロジェクト2 教育・福祉プロジェクト

- 〔重点施策〕
- ▶ 学校等の再編・整備と跡地の有効活用
  - ▶ スポーツ交流による活気あるまちづくり
  - ▶ 青少年育成ゾーン\*を生かした人材育成
  - ▶ 健康で元気に暮らせる保健・福祉事業の充実

##### 重点プロジェクト3 地域活性化プロジェクト

- 〔重点施策〕
- ▶ 積極的な企業誘致と雇用の創出
  - ▶ 特産品等の販売促進施設の整備
  - ▶ 特産品の生産支援と販路拡大の推進
  - ▶ 地域資源を生かした観光の振興

##### 重点プロジェクト4 協働のまちづくりプロジェクト

- 〔重点施策〕
- ▶ 市民・企業・行政による協働のまちづくりの推進
  - ▶ 地域コミュニティの活性化の推進
  - ▶ シニアが活躍できる機会の提供

##### 重点プロジェクト5 行財政改革プロジェクト

- 〔重点施策〕
- ▶ 行政運営の効率化
  - ▶ 健全な財政基盤の確立
  - ▶ 効率的な住民サービスの向上

## 各重点プロジェクトにおける主要事業等について

ここでは、各重点プロジェクトの具体的な内容である、重点施策と主要事業、さらにはプロジェクトによる成果などについて記載します。主要事業については、後述の後期基本計画における各章の事業を記載しており、そのページ数を右枠に記載しています。

〔重点施策と主要事業の例〕

## ●プロジェクトの重点施策と主要事業

重点施策	主要事業	ページ
良質な住宅団地の整備	●良質な住宅団地の整備	55

課題	事業	事業名	事業の内容	担当課
1	1	良質な住宅団地の整備		
	◎重点	①良質な住宅団地の整備	大規模市有地等を活用し、民間事業者との連携を図りながら、競争力のある良質な住宅団地の整備を推進します。	総合政策課

↑後述の後期基本計画55ページに事業と事業内容、担当課を記載。

## 重点プロジェクト1 定住促進プロジェクト

定住を促進することは、まちの活力を向上させていく上で非常に重要なテーマであり、近年多くの自治体で力が注がれ、自治体間で競争する時代となっています。宮若市でも、定住奨励金制度の運用を開始したほか、子育てしやすい環境を整備するため、認定こども園や子育て支援センター\*の開設などに取り組みました。また、平成24年度から民間事業者により市内の一部地域で光インターネットサービスが開始され、長年の懸案事項が大きく改善されました。

宮若市の強みとして、トヨタ自動車九州株式会社を始めとした多くの企業が立地しており、定住促進の条件である雇用の場が確保されていることが挙げられます。その強みを生かすため、後期基本計画では、ダイレクトに定住促進を行い、周辺自治体の住宅団地と比較して競争力のある、良質な住宅団地の整備に取り組みます。また、定住奨励金に加え、定住希望者のニーズを踏まえた、宮若市として独自性のある定住促進策を新たに講じるとともに、市内の情報格差を是正するため、高速インターネットサービスの提供エリア拡大に向けて取り組み、現在宮若市に住んでいる人がこれからも住み続けたいと思うまちづくりを推進していきます。

また、定住促進との関わりの深い、教育や子育て環境の充実については、後述の教育・福祉プロジェクトにより推進していきます。

## ●プロジェクトの重点施策と主要事業

重点施策	主要事業	ページ
良質な住宅団地の整備	良質な住宅団地の整備	55
魅力ある定住施策の充実	定住促進策の効果的なPR	55
	宮若市として独自性のある定住促進策の実施	
情報通信基盤整備の推進	高速インターネットサービス提供エリアの拡大	120

## ●プロジェクトの目指す成果

## 事業の趣旨・概要

- ▶ダイレクトな定住促進策として、周辺自治体の住宅団地と比較して競争できる住宅団地の整備（ハード）
- ▶定住希望者のニーズを踏まえた、魅力ある定住促進策の実施（ソフト）
- ▶情報通信基盤整備の推進

## プロジェクトの成果

## ●定住人口の増加によるまちの活性化



## 重点プロジェクト2 教育・福祉プロジェクト

少子化に対応し、適正な学校規模を確保するとともに、子どもたちの生きる力を育むための教育環境を整えることは、宮若市において非常に重要な課題です。前期には、中学校の再編に取り組み、統合校の宮若東中学校は、時代とともに変化してきた教育環境に適応した学校づくりを行うため、新しい校舎等を整備しました。

今後は、老朽化している宮若西中学校の整備、幼稚園・小学校の適正規模の確保に向けた検討といった更なる再編に取り組むとともに、中学校再編後の跡地利用を含めて、教育先進地を目指して、大きく展開させていきます。

また、前期で整備した施設を生かしてまちづくりを推進していくことも重要な課題であり、西鞍の丘総合運動公園、ハートフル、宮若リコリス、光陵グリーンパークで構成する青少年育成ゾーン\*を生かし、豊かな心を持ち、健康でたくましい青少年を育成するとともに、スポーツ交流による活気と魅力に満ちたまちづくりを行っていきます。

また、教育とともに、保健・福祉においても、少子高齢化に対応し、誰もが健やかで元気に暮らしていくため、各分野において特に重要と考えられる事業を見出し、推進していきます。

## ●プロジェクトの重点施策と主要事業

重点施策	主要事業	ページ
学校等の再編・整備と跡地の有効活用	宮若西中学校の整備	100
	学校跡地利用の検討	
	教育施設の適正配置	
	教育支援センター（適応指導教室）の設置	
スポーツ交流による活気あるまちづくり	光陵グリーンパークの整備	59/105
	スポーツによる交流等の推進	105
	スポーツ大会の誘致	
青少年育成ゾーンを生かした人材育成	宮若リコリスを活用した生涯学習事業の充実	103
	図書館機能の強化	
	スポーツによる交流等の推進	
健康で元気に暮らせる保健・福祉事業の充実	認定こども園の整備	80/97
	子育て支援センター*の充実	80
	地域ケア体制の確立	83
	就労の促進支援・定着支援／福祉就労の充実	86
	健康診断・がん検診の推進	90

## ●プロジェクトの目指す成果

## 事業の趣旨・概要

- ▶先進的な教育環境の整備
- ▶青少年育成ゾーンを活用し、宮若市として独自性のある人材育成や交流促進
- ▶子育て支援や高齢者・障がい者福祉、健康づくりなどにおける特に重要と考えられる事業の推進

## プロジェクトの成果

●確かな学力・豊かな心・健康でたくましい子どもたちの育成



●教育・子育て環境を整備するまちとして子育て世代の定住促進



●誰もが健やかに暮らすことができるまちの形成



## 重点プロジェクト3 地域活性化プロジェクト

産業振興による雇用の確保は重要な課題であり、定住を促進する観点からも喫緊の課題であるといえます。世界同時不況の影響から磯光工業団地への企業誘致が達成されていませんが、トヨタ自動車九州株式会社を始めとする企業の集積、若宮インターチェンジ・宮田スマートインターチェンジ\*といった交通インフラなどの強みを生かし、積極的に企業誘致に取り組みます。

同時に、宮若市には恵まれた自然環境を背景として豊かな農産物が生産されることから、それらを活用した農商工連携等による特産品の生産支援と販路拡大の推進、販売促進施設の整備を行い、地域の活性化を図ります。また、特産品と観光を結びつけるとともに、光陵グリーンパークや西鞍の丘総合運動公園を活用したスポーツ大会により、市内経済への波及効果が生じるように取り組みます。

### ●プロジェクトの重点施策と主要事業

重点施策	主要事業	ページ
積極的な企業誘致と雇用の創出	優遇措置等の活用	69
	情報発信・誘致活動の強化	
特産品等の販売促進施設の整備	特産品等の販売促進施設の整備	66
特産品の生産支援と販路拡大の推進	認定農業者*・地域集落営農組織の育成	65
	特産品の開発・生産体制の確立	
	農産物等の情報発信・販路拡大	
地域資源を生かした観光の振興	イメージづくりと情報発信	72
	観光施設・イベント等の魅力向上	
	スポーツ大会の誘致	105

### ●プロジェクトの目指す成果

#### 事業の趣旨・概要

- ▶ 企業集積、充実した交通インフラなどの強みを生かした積極的な企業誘致
- ▶ 豊かな農産物などを生かした魅力ある特産品の開発、生産支援、販路拡大
- ▶ 地域資源を生かした観光の振興やスポーツ大会の誘致

#### プロジェクトの成果

##### ● 産業振興による地域の活性化



##### ● 先進的な工業と潤いある農業が共存した、多面的で魅力あるまちの形成



##### ● 企業進出による雇用の創出、定住促進、財政基盤の強化



##### ● 特産品による農業の活性化、交流人口の増加、イメージづくり



##### ● スポーツ大会や観光イベント等の開催による市内経済への波及効果



## 重点プロジェクト4 協働のまちづくりプロジェクト

多様化、複雑化する市民のニーズに対応していくためには、市民、企業、行政がそれぞれの役割を生かし、相互に補完し合う協働のまちづくりの推進が重要であり、宮若市においては、宮若市自治基本条例\*を施行し、協働のまちづくりを推進していくための基本原則を定めました。

宮若市自治基本条例の適正な運用を行い、市民参加を推進するとともに、まちづくりに対する市民の関心を高めるための広報の充実に取り組みます。さらに、企業との連携を強化し、ボランティア活動などを通じた協働が広がるよう取り組みます。また、市民の身近な暮らしを支える地域コミュニティについては、職員の地域担当制度\*による活性化に取り組むとともに、東日本大震災の教訓を生かし、自主防災組織\*の育成に取り組みます。同時に、災害時の情報伝達手段を整備し、安全・安心のまちづくりを推進していきます。

加えて、まちづくりの担い手として、経験豊富なシニア世代の活躍が期待されることから、生涯学習の指導者や地域活動、ボランティアなどの様々な機会での活躍できるように仕組みづくりを行います。

### ●プロジェクトの重点施策と主要事業

重点施策	主要事業	ページ
市民・企業・行政による協働のまちづくりの推進	自治基本条例の適正な運用	115
	市民の関心・参加を高める広報の充実	
	企業との連携強化	124
地域コミュニティの活性化の推進	自主防災組織の育成	61
	災害時の情報伝達手段の整備	
	地域担当制度等によるコミュニティ活動の活性化	118
シニアが活躍できる機会の提供	シニアが活躍できる機会の提供	115

### ●プロジェクトの目指す成果

#### 事業の趣旨・概要

- ▶ 宮若市自治基本条例の適正な運用とまちづくりの情報発信の強化による市民参加の推進
- ▶ 地域担当制度や自主防災組織の育成などによる、市民の暮らしの基盤となる地域コミュニティの活性化
- ▶ 市民、企業などが参加し、それぞれの特性を生かしたまちづくりの推進
- ▶ シニア世代が活躍できる機会の提供

#### プロジェクトの成果



#### ●市民の多様な意見によるまちづくりの活性化



#### ●市民や企業との協働による課題の解決

#### ●安心して暮らせる地域コミュニティの形成



## 重点プロジェクト5 行財政改革プロジェクト

宮若市の将来像の実現に向けた施策の推進を図るためには、健全な財政基盤を確立することが必要不可欠です。

平成23年度に策定した第2次集中改革プラン\*を基に、基本方針と推進項目を掲げ、行財政改革を推進していきます。

### ●プロジェクトの基本方針と推進項目

基本方針	推進項目	ページ
行政運営の効率化	事務事業の見直し	127
	民間委託等の推進	
	組織・機構の見直し	
	定員管理の適正化	
健全な財政基盤の確立	財産活用による収入確保	127
	財産の運用	
	自主財源確保の推進	
	収納率の向上・滞納対策の強化	
	経常経費の削減	
	公共工事の適正化	
	公営企業等の運営	
	地方公社の健全経営	
効率的な住民サービスの向上	一部事務組合の運営	128
	指定管理者制度活用の検証	
	電子自治体*の推進	
	協働のまちづくりの推進	

### ●プロジェクトの目指す成果

